



こんにちは!

市議員 井坂博文 です



連絡先/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町 78 / 電話 432-3261 / FAX441-4968

「二人の市長に仕えて」を 読んで・・・

一昨年京都市を退職された塚本稔元副市長が、採用から退職までの長年の市職員としての道のりを描いてこの3月末に発行された「二人の京都市長に仕えて」を読んだ。昔から公務員は「宮仕え」と表現されるが、「仕える」とはどういうことだろうか、と考えながら読み始めた。

塚本氏も本書の中で躊躇があつたことを述べておられるが、二人の市長を秘書課時代から副市長までの長いあいだ脇役として市長を「支えた」という自負から「仕える」という言葉を使われたことはさもありなんと思つた。

えた。

京都市の最大の負の遺産は、部落解放同盟に屈服した公平性と主体性を放棄した本市のゆがんだ同和行政があり、担当者は苦しみ、中には自ら命を絶つた職員もいた。運動団体の推薦による「優先雇用」という採用システムが職員不祥事の温床になっていた。

職員が最も苦しんだ運動団体との軋轢であつたことを思うと、門川市長二期目の選挙で中村和雄さんが選挙の争点として取り上げ、選挙後に設置された「総点

検委員会」の三項目のまゝめは珠玉であつた。同和行政の完全な終結を求めた市民と市職員の長年の運動による成果である。

また、榎本市長時代に業界からの強い反対や圧力があつたものの「京都は日本の財産、世界の宝」「50年、100年後を見据えて次世代に継承する」として策定された「新景観政策」。看板条例など不備はあつたが、京都の景観を守るという熱い思いがあつた。それは10年たつて今の京都市に受け継がれているか。岡崎エリアや京都駅西部エリア開発を見ていると、新景観政策が行政によって骨抜きにされている、と感じているのは私だけだろうか。

バリアフリーの街へ

選挙投票日に寄せられた道路改修の相談2件。北山大宮交差点の歩道上のマンホールの蓋の周りのコンクリートが割れて危ないので改修して欲しい、とのこと。上下水道局に連絡すると、現場を見て蓋とセットで5月中に改修するとの返事。

もう一つは南船岡の側溝の雨水桝は車の通行による振動で穴が開き危険な状態に。これも上下水道局に連絡



「安倍はヤメロ」「麻生もヤメロ」の声が響きわたった

ルが河原町に響きわたった。個人的には安倍首相で

京都府知事 選後、最初の市役所前行動が市役所前で19日開かれ、河原町通りデモに500人が参加。議員団からも多数参加。「安倍内閣は総辞職」「安倍はヤメロ、麻生もヤメロ」「戦争したがる総理はいらない」とのコール

も麻生大臣でも、呼び捨てにするのは意に反するのだが、もはや国民の怒りは沸点を越えている。いつも以上に沿道からの注目と写真撮影が目立っていたのは気のせいではない。



桜は散っても 町内会の花見会

15日、私の住む町内会の春の恒例行事、船岡山花見会。今年は府知事選挙投票日ややすい祭があつたので、町内会のレクレーション係として会長さんと相談して日程をずらして15日に。桜は葉桜になつているものの、前日からの雨が昼前にはあがり、町内から8世帯子ども含めて17人が参加。

では味わえない料理や自家製の梅酒に舌鼓を打ちながら楽しいひと時を過ごした。知事選の話から地域の出来事や学校や子どものことなどいっぱい話ができてよかった。

